

平成29年9月22日
広島市立病院機構広島市民病院
病院長 荒木 康之

個人情報を含むUSBメモリの紛失について

当院の事務員が、当院へ受診された患者様292人分の個人情報を含むUSBメモリを紛失しました。

当院においては、個人情報の取扱いに関する情報セキュリティポリシーを定め、個人情報の適切な管理に努めて参りましたが、このたび、個人情報が記憶されたUSBメモリを紛失する事態となり、患者の皆様をはじめ関係の皆様方に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

現時点で、本件にかかる個人情報が第三者に流出したという情報や不正に使用された事実は確認されておりましたが、患者様の個人情報を保存したUSBメモリの所在が確認されないことは重大なことであり、責任の重さを痛感しております。

なお、本日の公表においては、個人情報保護の観点から、患者の皆様及び関係の皆様方に配慮した公表とさせていただきますので、ご理解のほどお願いいたします。

1. 事実経過

当該事務員が、業務の関係上、患者情報を基に資料を作成し、USBメモリに保存して管理しておりました。

平成29年8月8日（火）、当該事務員が所属する事務室内のパソコンに接続して資料作成した後、回収するのを失念しその後紛失したものとされます。当該事務員からの報告に基づき、翌日より事務室内を利用する関係職員への聞き取りや紛失したと思われる場所を探して参りましたが、現時点において発見に至っておりません。

2. 個人情報の内容

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの相談患者様に係るデータ

（診療年月日、入外区分、相談区分、患者番号、氏名、受診診療科、年齢、性別、請求金額）

※住所、電話番号、連絡先の情報は含まれていません。

3. 該当される方に対する当院の対応

該当者全員に対して、お詫びと状況報告のための文書を病院長名で送付させていただきました。

4. 再発防止に向けた今後の取組み

当院の保有する患者様の個人情報の保護につきましては、かねてより職員に対し、厳正な取扱いの周知徹底を計って参りましたが、このような事態が二度と起こらないよう、個人情報の適正な管理について、以下のとおり職員にあらためて注意喚起等を行いました。今後も継続して再発防止策に取り組んで参ります。

（1）9月21日付けで、病院長から全職員あてに個人情報の適正な管理の徹底について、文書により注意喚起を行いました。

（2）引き続き、職員へのセキュリティ研修等を通じて、法令を遵守した個人情報の適切な取扱いに万全を期してまいります。

【お問い合わせ先】

広島市立病院機構広島市民病院

事務室総務課

Tel082-221-2291（代）